

死 と 法

[M2-50018X1]

1 ユニットの概要

ヒトの死の概念を理解するとともに、法律上問題となる各種の医学的事項を適正に処理するために必要な基本的態度・知識を習得する。法医学の基礎知識を各項目に沿って講義する。講義ではその内容の理解を深めるとともに、実際に応用できるよう、可能な限り写真や動画等を用いて実例を提示する。また、死亡診断書（死体検案書）の作成を模擬症例を用いた演習形式で行う。法医学実務をより深く理解するために、希望する者には法医学解剖・死体検案の見学を許可する。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 生涯学習
- ③ 医学知識と技術
- ④ 患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤ 地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥ 科学的態度・探究心

3 ユニットの学修成果（アウトカム）：

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の学修成果との関連を示す。

- 死の概念を理解し、異状死体について説明できる（③）
- 法律上問題となる医学的事項について説明できる（③）
- 死体現象の機序を理解し、死亡経過時間の推定ができる（③）
- 各種の法医学上の損傷（窒息、創傷）の特徴を説明できる（③）
- 種々の異常環境における身体的障害を説明できる（③）
- 周産期の異常、乳幼児突然死症候群について説明できる（③）
- 児童虐待、ドメスティック・バイオレンスについて説明できる（③）
- 中毒をきたす物質の特性と身体的症候、分析法を説明できる（③）
- 内因性急死をきたす疾患について説明できる（③）
- 個人識別に必要な血液型、皮膚紋理、DNA 多型、骨の特徴を説明できる（③）
- 死亡診断書と死体検案書について理解し、その作成ができる（③）

4 方 略

統合型講義、演習形式の実習

5 評価

学修成果は次の評価項目を総合して評価する。

評価区分	評価項目	評価の対象	評価割合
形成的評価	実習・レポート	技能・態度	
	PBL	技能・態度	
	口頭試問	知識	
	授業の出席	態度	
総括的評価	ユニット試験	知識	100%
	その他		
合計			100%
ユニットの単位認定はユニット試験の結果により行う。 1. 合格点：試験内容は基本的に MCQ および記述式の併用とし、これらの合計で 60 点以上得点したものを合格点とする。このうち、死亡診断書（死体検案書）の作成問題等、一部の記述問題については、この配点範囲において 60%以上得点することを要する。 2. 評価点：ユニット試験の点数とする。合格点に充たない者については再試を課す。再試験の難易度は原則として、本試験と同等（以上）とする。 3. 全授業数の 10 分の 7 以上の出席が認められた者に受験資格を与えるが、次に該当する者は講義の定例出席の登録の有無にかかわらず、その講義を欠席したものとみなす。 1) 講義中に指名した際、不在のもの 2) 小テスト（講義中に実施する場合がある）を提出しないもの			

6 授業スケジュール

別項参照

7 事前事後学修について

法医学の講義内容の多くは種々の分野が相互に関連し合っているので、基礎医学および臨床医学の基本的事項を十分把握して臨む必要がある。各項目の内容については事前に配布する講義資料を読んでおくこと。また、講義では写真を含む事例を多数紹介し、しばしば重要な内容についてコメントするので、講義を疎かにすると貴重な情報を失うことになる。

【自己学習（準備学習）に必要な時間】

1 時限あたり 予習：30 分、 復習：30 分

8 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

ユニットの試験に関しては、試験後に解答等を開示し、適宜フィードバックを行う。
小テストを行った場合は、講義中に解説を行う。

9 教育担当者

ユニット責任者：水上 創（法医学）
講義担当教員については、授業計画表に示す。

10 参考図書・文献

基本的に配布する講義資料に沿って講義を行うことから、教科書はとくに指定しない。
現在、法医学の教科書として出版されている主な図書を以下に列挙する。
必要に応じて図書館にて閲覧もしくは購入し、適時参考とすること。

1. 「法医学」改訂4版 南山堂（福島弘文 監修/舟山真人、齋藤一之 編）
2. 「NEW エssenシャル法医学」第6版 医歯薬出版（高取健彦 監修/長尾正崇 編）
3. 「NEW 法医学・医事法」初版 南江堂（勝又義直、鈴木修 編）
4. 「現代の法医学」第3版増補 金原出版（永野耐造、若杉長英 編）
5. 「標準法医学」第8版 医学書院（池田典昭、木下博之 編）

参考図書：「死亡診断書（死体検案書）記入マニュアル」（厚生労働省のホームページ）

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
後	1	12月01日 (月)	1	講義	法医学概論	SO-03-01-01,SO-03-01-02,SO-03-01-05,SO-05-01-01	法医学	水上教授
後	2	12月01日 (月)	2	講義	医師と法律・異状死体	SO-03-01-01,SO-03-01-02,SO-03-01-05,SO-05-01-01	法医学	水上教授
後	3	12月01日 (月)	3	講義	死体現象 1	GE-03-06-01,SO-03-01-01	法医学	水上教授
後	4	12月02日 (火)	1	講義	死体現象 2	GE-03-06-01,SO-03-01-02	法医学	水上教授
後	5	12月02日 (火)	2	講義	窒息総論	PS-03-05-04	法医学	水上教授
後	6	12月02日 (火)	3	講義	窒息各論 1	PS-03-05-04	法医学	水上教授
後	7	12月03日 (水)	1	講義	窒息各論 2	PS-03-05-04	法医学	水上教授
後	8	12月03日 (水)	2	講義	損傷 1 (損傷総論)	PS-03-05-02,PS-03-05-04,PS-03-05-12	法医学	水上教授
後	9	12月03日 (水)	3	講義	損傷 2 (鈍創・鋭創)	PS-03-05-02,PS-03-05-04,PS-03-05-12	法医学	水上教授
後	10	12月04日 (木)	1	講義	中毒 1	PS-03-05-08,PS-03-05-09	法医学	佐々木非常勤講師
後	11	12月04日 (木)	2	講義	中毒 2	PS-03-05-08,PS-03-05-10	法医学	佐々木非常勤講師
後	12	12月04日 (木)	3	講義	中毒 3	PS-03-05-08,PS-03-05-11	法医学	佐々木非常勤講師
後	13	12月08日 (月)	1	講義	損傷 3 (頭部外傷・交通外傷)	PS-03-05-02,PS-03-05-04,PS-03-05-12	法医学	水上教授
後	14	12月08日 (月)	2	講義	損傷 4 (銃創)	PS-03-05-02,PS-03-05-04,PS-03-05-12	法医学	水上教授
後	15	12月08日 (月)	3	講義	異常環境による死 1	PS-03-05-10,PS-03-05-11,PS-03-05-13	法医学	水上教授
後	16	12月09日 (火)	1	講義	異常環境による死 2	PS-03-05-10,PS-03-05-11,PS-03-05-14,PS-03-06-08	法医学	水上教授
後	17	12月09日 (火)	2	講義	周産期の障害	GE-03-03-02,GE-03-06-01	法医学	水上教授
後	18	12月09日 (火)	3	講義	虐待・ドメスティックバイオレンス	GE-03-03-02	法医学	水上教授
後	19	12月10日 (水)	1	講義	個人識別 1 (血液型・指紋)	SO-03-01-04	法医学	竹下助教
後	20	12月10日 (水)	2	講義	個人識別 2 (DNA多型)	PS-01-01-10,SO-03-01-04	法医学	小林助教
後	21	12月10日 (水)	3	講義	個人識別 3 (白骨死体)	SO-03-01-04	法医学	水上教授
後	22	12月11日 (木)	1	講義	内因性急死 1	PS-03-05-02,PS-03-05-04	法医学	水上教授
後	23	12月11日 (木)	2	講義	内因性急死 2	PS-03-05-02,PS-03-05-04	法医学	水上教授
後	24	12月11日 (木)	3	講義	死亡診断書・死体検案書の書き方	SO-03-01-03	法医学	水上教授
後	25	12月12日 (金)	1	実習	死亡診断書・死体検案書の作成 1	SO-03-01-03	法医学	水上教授,竹下助教,小林助教
後	26	12月12日 (金)	2	実習	死亡診断書・死体検案書の作成 2	SO-03-01-03	法医学	水上教授,竹下助教,小林助教
後	27	12月12日 (金)	3	実習	死亡診断書・死体検案書の作成 3	SO-03-01-03	法医学	水上教授,竹下助教,小林助教
後		12月19日 (金)	2	試験	本試験			
後		12月19日 (金)	3	試験	本試験			